

大府市バイオマス産業都市構想（第2期）の概要

愛知県大府市、人口 93,017人、面積 3,366ha

構想の概要

生ごみバイオガス発電施設を中心とした事業化プロジェクトを推進し、市民、事業者などのごみ減量、資源循環、省エネルギーに対する意識を高め、持続可能な循環型社会の形成を目指す。

1. 将来像

- ①第6次大府市総合計画
「いつまでも 住み続けたい
サステナブル健康都市おおぶ」
- ②第3次大府市環境基本計画
「人と自然が共生する みらい輝く健康都市」

2. 目標（10年後）

【令和15年度の目標】

- ①バイオマス利用率：市内において30%
 - ・事業系生ごみ 10,000t/年（うち市内 1,600t/年）
 - ・産廃系生ごみ 6,000t/年（うち市内 1,000t/年）
 - ・家庭生ごみ 150t/年（うち市内 150t/年）
 合計 16,150t/年（うち市内 2,750t/年 30%）
- ②再生可能エネルギー調達量
バイオガス：2,500,000Nm³/年
電気：5,000,000kWh/年（1,200世帯分）
- ③温室効果ガス削減量 2,900t-CO₂/年
- ④メタン発酵肥料供給量 850t/年

3. 事業化プロジェクト

- ①バイオガス発電施設の継続稼働
- ②メタン発酵肥料の農業利用の促進

4. 地域波及効果

- ①経済波及効果
7,049万円（愛知県産業連関表による）
- ②雇用創出効果
13人の雇用を創出（令和6年4月現在）

5. 実施体制

- ・大府市と実施主体であるオオブユニティ株式会社を中心に、関係者と連携しながらプロジェクトを進める。
- ・大府市環境審議会に進捗を報告し、必要に応じて助言を求める。
- ・近隣のバイオマス産業都市と連携し、相互の推進を図る。

6. その他

- ・第6次大府市総合計画（令和2～12年度）
- ・第3次大府市環境基本計画（令和3～12年度）
- ・大府市一般廃棄物処理基本計画（令和3～12年度）
- ・大府市産業振興基本計画（令和3～7年度）